

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 5 区分
 【発行日】平成 21 年 5 月 14 日 (2009.5.14)

【公表番号】特表 2008-534797 (P2008-534797A)
 【公表日】平成 20 年 8 月 28 日 (2008.8.28)
 【年通号数】公開・登録公報 2008-034
 【出願番号】特願 2008-503203 (P2008-503203)
 【国際特許分類】

A 4 2 B 3/28 (2006.01)

A 4 2 B 3/18 (2006.01)

【F I】

A 4 2 B 3/28

A 4 2 B 3/18

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 3 月 18 日 (2009.3.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

対人保護ユニット (20) において、
個人の頭を覆って着用されるように形成された支持構造体 (28) であって、前記個人の
 前記頭を覆ってフードが吊るされるように前記フードを前記支持構造体に保持するような
 された支持構造体 (28) と、

前記個人の前記頭に着用されるようなされた支持アセンブリ (108) であって、前記
 頭の上方の前記支持構造体に接続されると共に前記頭の上方の前記支持構造体を保持し、
 前記頭の後ろの周りおよび前記支持構造体よりも下方に延在する後部 (142) を有する
 支持アセンブリ (108) と、

空気を受けて排出するための、前記支持構造体に取り付けられたファン (46) と、

導管を画定し、前記頭の前記後ろに隣接する前記支持構造体から延在する排出部材 (1
 06) であって、少なくとも前記支持アセンブリ (108) の前記隣接する後部 (142
) を延ばすように寸法決めされた排出部材 (106) と、

前記排出部材に取り付けられたノズルチップ (102) であって、開口 (92) を有し
 、前記開口を通して排出された空気を前記支持体アセンブリの前記後部よりも下方で前記
 首へと導けるように形成されたノズルチップ (102) とを備えていることを特徴とする
 対人保護ユニット。

【請求項 2】

前記支持構造体が、前記ファンからの空気がその中に排出される空気流路 (34) を画
 定し、前記排出部材導管への入口へ前記空気を収束させるように形成された構造部材 (1
 04) が、前記空気流路内の前記空気を前記排出部材導管へ導くようになっていることを
 特徴とする、請求項 1 に記載の対人保護ユニット。

【請求項 3】

前記構造部材が、前記支持構造体内部に配置されていることを特徴とする、請求項 2 に
 記載の対人保護ユニット。

【請求項 4】

前記支持アセンブリ (108) の前記後部 (142) が、前記頭の上方の前記支持構造

体（２８）を保持するように形成されていることを特徴とする、請求項１～３のいずれかに記載の対人保護ユニット。

【請求項５】

前記支持アセンブリの前記後部（１４２）が、前記頭の周りの前記支持アセンブリ（１０８）の寸法を調整するためのアセンブリを備えていることを特徴とする、請求項１～４のいずれかに記載の対人保護ユニット。

【請求項６】

前記ノズルチップ（１０２）が前記支持アセンブリの前記後部よりも下方に位置するように、前記排出部材（１０６）が前記支持アセンブリの前記後部よりも下方に延在すべく形成されていることを特徴とする、請求項１～５のいずれかに記載の対人保護ユニット。

【請求項７】

前記開口が前記個人の前記首から離れて導かれるように、前記ノズルチップ（１０２）が前記排出部材に回転可能に取り付けられていることを特徴とする、請求項１～６のいずれかに記載の対人保護ユニット。

【請求項８】

下方に開口を画定する別々のノズルチップをそれぞれ有する２つの前記排出部材が、前記支持構造体から延在していることを特徴とする、請求項１～７のいずれかに記載の対人保護ユニット。

【請求項９】

前記ファンが、前記支持構造体内に配置されている渦巻ハウジング（５０）内に収容されていることを特徴とする、請求項１～８のいずれかに記載の対人保護ユニット。

【請求項１０】

前記支持構造体がヘルメットとして形成されていることを特徴とする、請求項１～９のいずれかに記載の対人保護ユニット。

【請求項１１】

前記排出部材と前記ノズルチップとが別々の部品であることを特徴とする、請求項１～１０のいずれかに記載の対人保護ユニット。

【請求項１２】

前記排出部材（１０６）が、前記支持体アセンブリ後部（１４２）の後方に位置していることを特徴とする、請求項１～１１のいずれかに記載の対人保護ユニット。